

志賀原子力発電所1号機 残留熱除去系配管からの水漏れについて

平成20年4月25日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所1号機は、第11回定期検査中のところ、本日(4月25日)午前10時35分頃、原子炉建屋の管理区域内にある残留熱除去ポンプ(A)入口弁の開閉試験時に、ポンプ分解点検に伴う配管開口部から、作業のために設置していた養生シート上に水が漏えいしました。

直ちに弁を閉め、漏えいは止まりました。漏えいした水は養生シート上に、約240リットル、放射エネルギーは約 3.8×10^5 ベクレルでした。

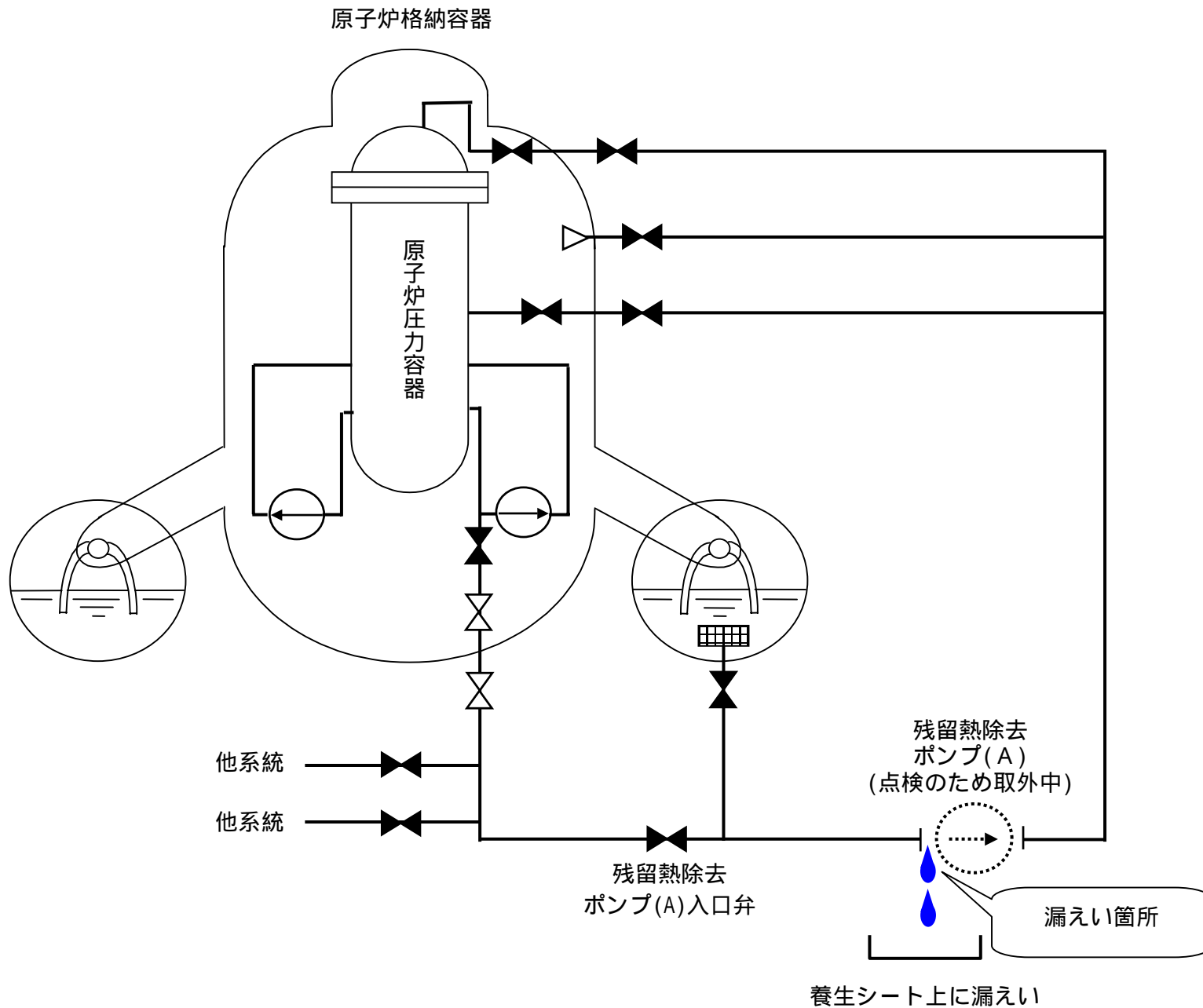
なお、作業員の被ばくおよび外部への放射能の漏えいはありません。

原因は、開閉試験のため当該弁を開としたところ、配管にたまり水があったため開口部から漏えいしたものです。たまり水は、当該配管の水抜き後、他系統とつながる弁の微少な漏えい水が配管にたまったものと考えています。

本事象は、石川県、志賀町と締結している連絡基準に従い、当該自治体へ連絡しています。

以上

残留熱除去ポンプ：原子炉停止後の崩壊熱を除去するためのポンプ



残留熱除去(A)系 概要図